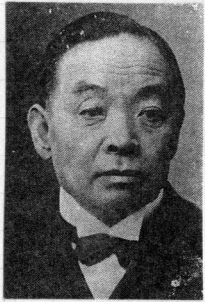


宮島英香 （英香） 漢詩人。天保九年七月二十日出羽國米澤城下猪井代
片町生れ、明治四十四年三月十五日歿（八六一—九一一）。諱吉久、字怡
板、幼名熊藏、通稱誠一郎、誠。別號八十八溪漁父、養浩堂。藩政興
讓館、（英香）、若くして助教となる。戊辰役の際、奥州同盟の建白書を
得て朝廷に密奏、藩の名分を貫いて兵禍を防いだ。明治二年待詔院出
任、四年左院に轉じて「立國憲議」（憲法草案）を提出、また内務省
新設を建議。十年修史館御用掛、二十一年宮内省御用掛、二十九年
皇族院議員等歴任。

一方詩文も能くし、清朝の漢何如璋、教諭曾等隣邦人として詩文を通じ
て親交。夙に東亞問題の重要性を洞察、西南役後同志と興亞會を興し
て興亞學校を設立、大陸關係團體の先蹤となつた。漢詩集等の著書が
あり。書家宮島英詠十士の父。



書家宮島英詠十士の父。